

## PRESS RELEASE



「アサデス。KBC」が「戦争と平和」テーマに 2 時間の特別番組を制作  
番組人気コーナーとコラボ 身近な生活と戦争にスポットをあてる



KBC では朝の情報番組「アサデス。KBC」(月～金/あさ 6:00～8:00)が制作する終戦80年の特別番組「そのとき生活の中に戦争があった」を8月16日(土)ひる 0:55(2時間番組)から放送します。

終戦から80年が経ち、戦争を知る世代は年々減り続け、日常生活でその悲劇に触れる機会はほとんどありません。子どもたちにとって、日本の戦争は歴史上の出来事。それどころか、スマートフォンやパソコンゲームでは戦闘がその題材にまでなっています。戦争がエンタメ化する一方で世界に目を向ければ、リアルな戦争が後を絶ちません。こうした中、迎える終戦80年の節目の夏。今回、制作する終戦特別番組は自分たちの生活と照らし合わせ、リアリティを持って「戦争と平和」について考えられる内容になっています。具体的には「アサデス。KBC」のお天気やエンタメ、スポーツなどレギュラーの人気コーナーや出演者とコラボし、戦時下の日常生活や市井の人々にスポットをあてます。

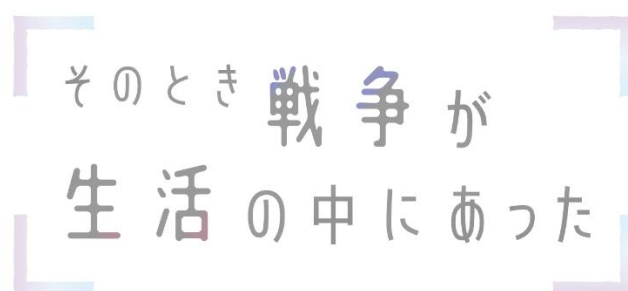
福岡に存在した幻のプロ野球球団で活躍した選手たち、市民に届けられなかった天気予報を続けた予報官たち、娯楽が制限される中で楽しみを見つけた子どもたち、戦時下の動物園を支えた飼育員たち、“赤紙”が来るまで教壇に立ち続けた教師たち。そこには苦難に満ちた時代にも力強く生きた人々がいました。

戦争は戦場だけで起きていたわけではなく、暮らしの中にも確かにその影があり、時代の空気を支配していたという現実。現代の生活を戦時下と比較することで、80年前、確かに私たちが暮らすこの場所にも戦争があったことを実感し、戦争が私たちの暮らしから何を奪うのかを詳細にイメージしていきます。戦禍を生き抜いた人々の経験は今を生きる私たちに何を訴えかけるのか…。

「アサデス。KBC」番組放送開始から四半世紀ー 迎える終戦 80 年の節目。「アサデス。KBC」のレギュラー出演者とスタッフが総力取材し「戦争と平和」に正面から向き合う2時間です。



■番組ロゴ



■番組名

アサデス。KBC 終戦80年 特別番組

そのとき戦争が生活の中にあつた

■放送日

8月16日(土) ひる 0:55 ~ 午後 3:00

■出演

宮本啓丞、徳永玲子、岡田理沙、佐藤栄作、こだマン、西田たかのり、松下由依、山下七子

■番組ホームページ

<https://kbc.co.jp/sengo80yrs/>